

分野名		生体制御医学分野								
科目名		腎機能治療学								
英文科目名		Therapeutic nephrology								
担当教員	研究指導教員	古市賢吾教授								
	科目担当教員									
代表的な研究課題		慢性腎不全および透析の病態生理、臨床に関する研究								
		急性腎不全の病態生理に関する研究								
		腎移植の臨床病理学的研究								
学修目標	一般目標	腎臓内科領域の研究を行うための、腎の形態・生理機能の理解と各種腎疾患おける病態生理ならびに関連した治療と合併症を学ぶとともに、研究において必要な基本的手技を取得する。								
	行動目標 (DPとの関連)	【講義】	腎糸球体・尿管における構成細胞とそれぞれの機能を発生から分子レベルで理解できる。さらに腎炎・ネフローゼ症候群、腎不全、移植腎における病態生理を把握し、これらの機序ならびに合併症に関して理解を深めることができる。						(DP1・4)	
		【演習】	研究に必要な試験デザイン、疫学研究(統計手法)、基礎研究手技(動物実験、細胞培養実験、分子生物学的手技)などの基本を理解できる。さらに、課題に関する考察と評価ならびに関連研究情報の検索法と批判的判断能力、まとめ方、効果的な発表方法を修得できる。						(DP1・3)	
		【実験実習】	研究に必要な手技として動物実験、細胞培養実験、分子生物学的手技、病理組織学的手技、統計手法などの基礎を実践できる。						(DP2・3)	
	学位授与方針(DP)	DP1: 医学・生命科学全般にわたる幅広い学識と生涯にわたり自立して研究活動を継続する能力を有している。 DP2: 高い倫理観と高度の専門知識を有し、最先端の医学研究を企画・立案して遂行する能力を有している。 DP3: 独創的な学術論文を論理的、かつ明確に記述して公表し、国内外の学会において発表し討議する能力を有している。 DP4: 科学的技能を活かして、地域医療から国際保健・医療まで医療全般の進歩に貢献し、次世代の研究者育成にも貢献する能力を有している。								
教科書		Brenner & Rector's The Kidney 11th edition A.S.L.Yu, et al. ELSEVIER 2020								
準備学習	内容	教科書の該当する箇所を読んでおくこと。								
	時間	90分/1回の授業あたり								
課題に対するフィードバック		レポート等の課題を提出させた場合は、内容のチェック・添削を行い、本人へフィードバックして理解度のアップをめざす。								
評価方法等	評価方法	講義・実習への出席と課題レポートの提出で総合的に評価する。								
	成績評価基準	評価配分：出席 70%、レポート30% 教育要項22頁[成績評価・単位認定方法等]参照のこと								
科目番号	講義	5021101	演習	5021102	実験実習	5021103	特別研究	50501034		
単位	4		4		4		6 (2-4年次で)			
	30コマ	60H	60コマ	120H	60コマ	120H	30コマ	60H		
開講時期		通年		通年		通年		通年		
配当年次	主科目とする場合	1または2年次		1または2年次		1または2年次		2-4年次		
	副科目とする場合	1、2、3年次		-		-		-		
選択/必修の別	主科目とする場合	必修		必修		必修		必修		
	副科目とする場合	選択		-		-		-		

時間割	区分		講義	演習	実験実習	特別研究
	昼間	前期15週	火曜 4限目	水曜 4-5限目	水曜 1-3限目	月曜 4限目
		後期15週				
	夜間	前期15週	火曜 6限目	水曜 6-7限目	月曜 6-7限目	金曜 7限目
後期15週						
備考		授業時間の詳細は、21頁 [医学研究科における授業時間] を参照のこと。 上記の時間に参加できない場合は、担当教員と協議の上、具体的な時間割を決定する。				
担当教員		古市賢吾教授	古市賢吾教授	古市賢吾教授	古市賢吾教授	
授業内容		体液の恒常性を維持・制御している腎について、形態・機能をより深く理解できるように系統的に講義を行う。具体的には、糸球体機能と分子構造、これに関連した腎炎・ネフローゼ症候群の発症機序と病態解明ならびに進展抑制に関する分子への理解を深める。さらに慢性腎臓病（CKD）、急性ならびに慢性腎不全の病態生理、長期透析の合併症、腎移植における拒絶反応ならびに慢性移植腎症の発症原因の解明などに関連した臨床病理学的ならびに分子生物学的観点からの講義を行う。	腎の機能、病態生理の講義内容を深く理解するための演習を行う。基本的な研究方法とともに、具体的な研究手技習得のための指導を行う。さらに、得られた成績を基に考察と評価を行い、関連研究情報の検索法と批判的判断能力、まとめ方、効果的な発表方法の習得をさせる。また、セミナーなどでの発表・討論をとおして研究の質と学生の思考能力や問題解決能力を高めるよう指導する。	腎機能治療学に必要なとされる基本的な実験実習を行う。慢性腎臓病（CKD）の病態生理、長期透析の合併症、腎炎の進展抑制、急性腎不全の発症メカニズム、腎移植における慢性移植腎症の発生機序に関する研究に関連した、実験動物の扱い方、生化学的計測や免疫組織学的手法などの従来の方法に加えプロテオミクスならびに分子遺伝学的手法などを体得し応用する。	①慢性腎臓病（CKD）の進行と合併症に関する研究 ②腎炎・ネフローゼ症候群の病態に関する研究 ③移植腎障害に関する臨床病理学的研究	
授業場所		臨床研究棟7階 腎臓内科学医局	臨床研究棟7階 腎臓内科学医局	臨床研究棟7階 腎臓内科学研究室	臨床研究棟7階 腎臓内科学研究室	
授業計画（インターネットに掲載）	講義	http://www2.kanazawa-med.ac.jp/~d-gakuin/office/implementationplan/5021101.pdf				
	演習	http://www2.kanazawa-med.ac.jp/~d-gakuin/office/implementationplan/5021102.pdf				
	実験実習	http://www2.kanazawa-med.ac.jp/~d-gakuin/office/implementationplan/5021103.pdf				
資格取得などのキャリアパス		腎臓学会専門医の取得を目指す。				
研究指導教員の実務経験		医師				
履修上の注意事項		①質問の受付は、随時行う。 ②特別な配慮を必要とする場合は、事前に担当教員に相談すること。 ③主科目として履修する場合は、1年次に共通科目実験動物学を履修すること。 ④履修科目届にて履修希望を届け出し、履修年度の2月に、授業科目履修報告書にて、成績を報告することにより、修了要件の単位として認定される。 ⑤履修報告の際には、履修した科目ごとに「授業改善のためのアンケート」を添付すること。				
オフィスアワー		古市賢吾教授（臨床研究棟7階 腎臓内科学教室） 火曜日 9：00～12：00（事前にメールでの照会必須） e-mail furuichi[at]kanazawa-med.ac.jp [at]→@				